

中国古典に学ぶリーダーシップ

～『論語』に学ぶ～



政治経済、国際情勢が混乱する今、経営者は何をなすべきか？

その解決の糸口は、多くの政治家や経営者が行動の指針としてきた中国古典「論語」にあります。そこには、人の上に立つべき人間が逆境に陥った時、決断を迫られた時、人間として生き抜く際の「原理・原則」があるからです。

守屋講師は、中国古典の戦術戦略をビジネスの現場に活かすべく、精力的に講演活動を行う中国古典研究家。「論語」の内容をわかりやすく説明しながら、現代経営者の成功事例と失敗事例の両面を鋭く分析し、「論語」を現代のビジネスで応用する方法を明らかにしていただきます。本セミナーにて是非とも現代社会で生き残り、そして活躍するための戦略とノウハウをつかんでください！ 皆様の多数のお申込みをお待ちしております。

【講師】 守屋 淳(もりや あつし)氏 作家、中国古典研究家

<プロフィール>

1965年東京生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。大手書店勤務を経て、中国古典をベースとした著述家として活躍。「守屋淳氏なくして中国古典の戦術戦略を語れない」と評される存在。中国古典分野での第一人者として知られる守屋洋氏を父にもつ。近著『最高の戦略教科書 孫子』『組織サバイバルの教科書 韓非子』(日本経済新聞出版社)は、合計16万部、『現代語訳 論語と算盤』(ちくま新書)は、12万部のロングセラーになっている。

【内容】

～「論語」から～

過ちに気がついて改めない、これがほんとうの過ちだ(過ちて改めざる、これを過ちという)衛霊公篇

立派な人間は、正しい道理を守って約束には義理立てしない(君子は貞にして諒ならず)衛霊公篇

君子は、食べ物や住まいについて、ことさら贅沢を願わず、行動は機敏に、発言は慎重を旨とする、そして、立派な人物を見習って我が身を正すのである。こうあってこそ、学問を好む人間と言えよう(君子は食飽くことを求るなく、居安きを求るなく、事に敏にして言に慎み、有道に就きて正す。学を好むというべきのみ)学而篇

何かを知っているというのは、それを好きだという境地に及ばない。しかしそれも、楽しんでいる境地の深さにはかなわない。(これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず)『論語』雍也編

わたしは、『論語』を最もキズがないものだと思ったから、『論語』の教訓を目安として、一生商売をやってみようと決心した。それは明治六年(一八七三年)の五月のことであった。『論語と算盤』渋沢栄一
ちくま新書

《他多数》



【日時及び会場】

開催日：**2018年1月31日(水)** 講演会15:30～17:00(受付15:00)

会場：**ホテルJALシティ仙台**(JR仙台駅西口から徒歩5分)

〒980-0013宮城県仙台市青葉区花京院1-2-12

TEL:(022)711-2580(代表)

【参加費】 無料 【定員】 **80名(先着順)**

【お問合せ】 東京中小企業投資育成(株) ビジネスサポート部 大村

TEL：03-3499-0755

【申込期限】 1月29日(月)までに、http://www.sbic.co.jp/main/fronts/seminar_listからお申込みいただくか、以下の受講申込書にある必要項目について、

Eメールgyoshi-seminar@sbic.co.jp にてお送りください。本受講申込書のFAXによるお申込みもできます。なお、受講票等はございません。受付開始は15:00からです。

受 講 申 込 書

東京中小企業投資育成(株) ビジネスサポート部 大村 行

FAX：03—3499—0819

貴社名

参加者 役職名・氏名(複数のご参加も可能です)

連絡先

TEL

FAX

E-mail

投資育成からの投資について(○をつけてください)

投資を受けている () 投資を受けていない()

ご記入いただきました個人情報、参加者名簿として、またセミナーの企画・運営・実施のため使用する他、関連するアフターサービス、必要な情報の提供及び投資育成制度に関する各種ご案内のために使用します。